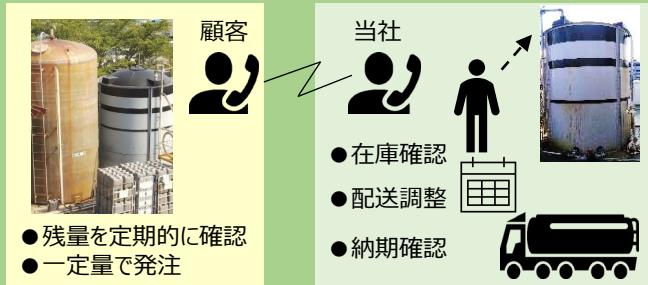


# 株式会社日吉 「IoTを活用した工業薬品タンク残量把握及び配送管理の効率化」

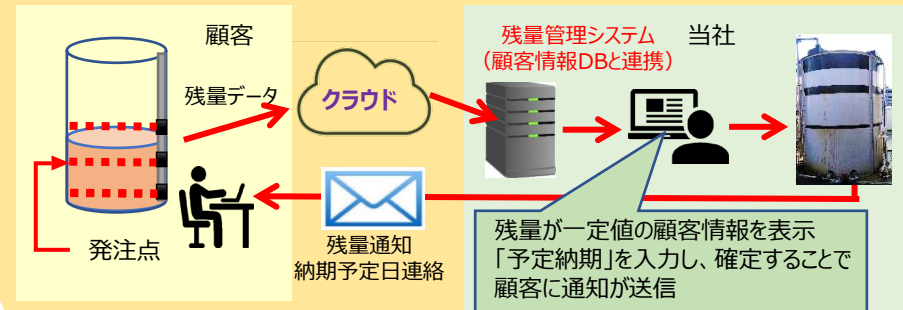
## 従来

- 受注生産方式であるが、いつ顧客の注文があるかわからず以下の課題あり
  - 1) 在庫管理（生産管理）がしにくい
  - 2) 配送計画を立てにくい
  - 3) ドライバー、車両、在庫の余力が必要
  - 4) 顧客の希望に添えない、緊急対応が必要になる場合がある
- 常に目視で、タンクの在庫量を管理するため、人手、時間がかかる読み間違えによる在庫量の間違えがある



## 今回

- 静電（顧客側） / 超音波（当社側） 液量計測デバイスとSigfox利用により発注点の前の残量を事前に把握
- 発注の事前予測で、**在庫・生産管理、配送スケジューリング**が可能



## 成果

- 自社工業薬品タンク（5台）に超音波液量計測デバイスを設置し残量情報の自動取得と在庫残量お知らせシステムの構築が出来た。
  - ⇒ 担当者がタンクのところまで行って液量を目視確認しなくても、パソコン上で薬品タンクの現在量を確認できるようになった。
  - ⇒ 発注数量に達したタンクから、顧客へ発注確認連絡を送信することが可能となった。
- 顧客タンクへの液量計設置に関しては、顧客との調整等に手間取り今回事業では導入未達となった。

## 今後の展望

- 顧客側タンクへの液量計設置
  - ⇒ 以下の顧客メリットを訴求し、液量計導入を推進する
    - ① 顧客側で実施していた残量確認作業が不要となる
    - ② 当社から発注確認書が届き、捺印後に返送してもらうだけで発注作業の手間が削減でき、発注漏れのリスクも減少する
- 現在自社で展開している分析結果のWebサービス（結果確認・データ管理・集計等）を活用し、タンクの情報に関して「残量月報」をダウンロード出来たり、使用状況に関する分析や発注データを提供するサービスのしくみ構築により顧客困り込みを目指す。